

令和5年上尾市教育委員会第2回臨時会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月3日（木曜日）
開会 午前9時30分
閉会 午後3時08分
- 2 場 所 上尾市役所 7階教育委員室
- 3 出席委員 教育長職務代理者 大塚崇行
委員 内田みどり
委員 小池智司
委員 谷島大
委員 矢野誠二
- 4 欠席者 教育長 西倉剛
- 5 出席職員 教育総務部長 小田川史明
教育総務部次長 谷川義哉
学校教育部長 瀧澤誠
学校教育部次長 黒田正司
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 武田直美
教育総務部 教育総務課長 池田直隆
小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長 三上義仁
国語教科用図書調査研究専門部会長 瀧沢葉子
社会教科用図書調査研究専門部会長 石田賢一
算数教科用図書調査研究専門部会長 吉田充
理科教科用図書調査研究専門部会長 増田司
生活教科用図書調査研究専門部会長 野本恭子
音楽教科用図書調査研究専門部会長 熊坂由美子
図画工作教科用図書調査研究専門部会長 豊田好伸
家庭教科用図書調査研究専門部会長 松澤歩
体育教科用図書調査研究専門部会長 勝雄一
外国語教科用図書調査研究専門部会長（代理） 大平篤
道徳教科用図書調査研究専門部会長 中島晴美
学校教育部 指導課副主幹 森正典
書記 教育総務課主査 田中輝夫
- 6 傍聴人 15人

7 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 協議

協議1 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

日程第4 議案の審議

議案第37号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

日程第5 報告事項

報告事項1 上尾市いじめ問題調査委員会調査報告書について

日程第6 閉会の宣告

8 会議録

日程第1 開会の宣告

(大塚崇行 教育長職務代理者) 本日、西倉教育長は、体調不良により欠席しております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、私が教育長の職務を代理して、本日の会議を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ただ今から、令和5年上尾市教育委員会第2回臨時会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(池田直隆 教育総務課長) 15人の方から傍聴の申出がございます。教育長職務代理者の許可をお願いいたします。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 傍聴を許可いたします。ご案内をお願いします。

~傍聴人入場~

(大塚崇行 教育長職務代理者) 傍聴者の皆様に申し上げます。本日、西倉教育長は、体調不良により欠席しておりますので、私が教育長の職務を代理して、本日の会議を進めております。また、傍聴にあたっての注意事項を傍聴券の裏面に記載しておりますので、お読みいただき会議の進行にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最初に、議事の前にお諮りいたします。本日の臨時会で予定しておりますのは、協議1件及び議案の審議1件でございますが、日程に、「日程第5」として「報告事項」を加え、「報告事項1 上尾市いじめ問題調査委員会調査報告書について」の報告を行いたいと存じます。本報告事項につきましては、被害児童生徒及び加害児童生徒等の状況に関する報告を行う予定であるため、当該児童生徒等の個人情報を保護すべき案件でございますので、会議を公開しないこととし、関係職員のみのお出席によって、報告を行いたいと存じますが、これにご異議はございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(大塚崇行 教育長職務代理者) 異議ないものと認め、日程に報告事項を加え、「報告事項1」につきましては、会議を公開しないものとし、関係職員のみのお出席によって報告を行うものとして決定いたしました。

改めまして、本日の日程につきましてご案内申し上げます。本臨時会は、令和6年度使用の小学校の教科用図書の採択について、協議及び議案の審議を行い、その後、報告事項を行います。「日程第3 協議」において、令和6年度に使用する小学校の教科用図書11教科について協議を行うことから、長時間に及ぶため、午前と午後に分けて行いたいと存じます。具体的には、午前は「日程第3 協議」の途中まで、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭について、各専門部会からの調査検討事項の説明及び質疑を、それぞれ教科ごとに行います。午前はここで一旦終了し、昼休憩後、午後1時10分から協議を再開します。午後は、残りの教科、体育、外国語、道徳について同様に進め、全ての教科の説明及び質疑が終了後、教科書選定の投票を行い、集計の後、結果を報告し、協議を終了します。協議終了後、議案の準備のために、暫時休憩を取り、その後、「日程第4 議案の審議」、そして、非公開の会議として、関係職員のみのお出席によって「報告事項1 上尾市いじめ問題調査委員会調査報告書について」の報告を行いたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

なお、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則に基づき、三上小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長及び各教科の教科用図書調査研究専門部会長に出席を求めていますので、申し添えます。

それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

日程第2 会議録署名委員の指名

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続きまして、「日程第2 会議録署名委員の指名」を行います。本臨時会の会議録署名委員は、小池委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(小池智司 委員) はい。

日程第3 協議

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続きまして、「日程第3 協議」でございます。教育委員の皆様には、資料作成委員会が作成した各資料を基に研究を進めていただいたことと存じます。本日これより、教科の専門部会ごとに調査研究事項の説明をしていただき、慎重審議の上、採択を行いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、協議の説明をお願いします。

(瀧澤誠 学校教育部長) 小学校教科用図書の採択につきましては、文部科学省「小学校用教科書目録」の中から、教科用図書を選定し、採択いただくことになっております。本日は、既に配布させていただきました各資料から、資料作成委員会の検討結果をご報告申し上げます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) それでは、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則第5条第5項の規定により、三上委員長より、令和6年度使用小学校教科用図書の採択について、調査検討事項の説明をお願いします。

(三上義仁 小学校教科用図書選定資料作成委員会委員長) それでは、ただ今から、小学校教科用図書の採択に係る選定資料について、ご説明いたします。資料作成の過程でございますが、校長1名、専門的知識を有する教員2名から5名により専門部会を組織し、全ての教科書発行者の教科用図書について調査研究し、その結果を資料作成委員会において報告していただきました。その報告や、学校の調査研究結果、教科用図書展示会におけるアンケート等も参考にしながら作成した選定資料をもとに、各専門部会長から説明申し上げます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) それでは、各専門部会長から調査検討事項の説明をいただきます。まず、「国語」、「書写」の説明をお願いします。

(瀧澤葉子 国語科専門部会長) 国語につきましては、3者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、教科書冒頭に目次として教材名が列挙されています。言葉相談室や言葉の広場では、カテゴリー別に言葉が示されており、語彙を広げています。思考力、判断力、表現力を育成するための工夫として、読むことの学習内容を生かして書くことの学習ができる配列になっており、読むこと・書くことを関連させて学習できる構成になっています。情報の扱い方については、年3回情報のとびらが設定されており、デジタル

機器を題材とした文章、デジタル機器の活用を想定した学習活動、デジタルノートの作り方が紹介されています。

教育出版株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、教科書冒頭に言語教材一覧と、言葉の広場、漢字の広場、言葉の文化、読書の広場の4つの分類が示されています。学習計画が見通しをもとで示され、それぞれ具体的な学習課題が示されています。思考力、判断力、表現力を育成するための工夫として、思考・表現のヒントがイラストや図でわかりやすく示されています。情報の扱い方については、二次元バーコードが、まなびリンクという学習サイトにつながり、話し合いのモデル動画や補助資料などを見ることができます。全体的に、絵や図など視覚的な情報が工夫して配置されています。

光村図書出版株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、教科書冒頭に、言語教材一覧と言葉の使い方、受けつがれてきた言葉、情報、読書の4つの分類とともに、前年度の学習事項と関連づけて示されています。学習計画は見通しをもとで、問い・目標・振り返りを設定し、学習課題が示されています。思考力、判断力、表現力を育成するための工夫として、着眼点のヒント等が文章で示されています。情報の扱い方については、年2回情報という形で設定されていて、デジタル機器を題材とした文章や、デジタル機器の活用を想定した学習活動が設定されています。全体的に、言葉による説明や文章量が多い内容になっています。

続きまして、書写について報告をいたします。書写につきましては3者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、書写のかぎで、知識・技能のポイントを示しています。3年生以上の毛筆教材では、文字は黒をメインとして文字が示されています。筆圧の強さは、「とん、すう、ぴた」という動きを示す言葉で示されています。思考力、判断力、表現力を育成するための工夫として、学習の冒頭に問いが示され、学習の目的意識をもたせ、学習後は振り返りを教科書に書きこめるようになっています。また、児童にありがちな課題の例を示し、考えさせる工夫がなされています。毛筆と硬筆との関連については、毛筆の学習したことを硬筆で生かせるように練習する欄があります。

教育出版株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、折れ、曲がりなど知識・技能のポイントが文字ごとに大きく示されています。3年生以上の毛筆教材では、筆の動きを2色の濃淡図を用いて示されています。思考力、判断力、表現力を育成するための工夫として、学習の進め方が表紙裏に記載されています。また、文字のめあてや大事な点が青文字で示されています。毛筆と硬筆との関連については、硬筆で学習のはじめに書くためし書きと学習の終わりに書くまとめ書きの欄を設け、学習の定着が比較できるようになっています。毛筆と硬筆の学習がそれぞれ見開き2ページに示され、学習した内容の関連が確認できる構成となっています。

光村図書株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、文字の大切なところには色で強調するなどして、知識・技能のポイントを示しています。3年生以上の毛筆教材では、筆の動きを2色の濃淡図で示しています。また、筆圧の強さを1、2、3で表わしています。思考力、判断力、表現力を育成するための工夫として、学習の流れが、考えよう、たしかめよう、生かそうと段階を踏んで学習の進め方に示されています。毛筆と硬筆との関連については、毛筆の学習したことを硬筆で生かせるように練習する欄が設けられています。全学年にSDGsについての理解を深める内容が盛り込まれています。

これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につき

まして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) まず国語について、様々な教材の中に、スイミーやお手紙のような、よく使われていて定番とされるような題材を扱っている発行者が多くありましたが、発行者により扱う学年が違っていました。例えばスイミーを1年生で扱うところや2年生の3学期で扱うところなどがありました。私は1年生ではやや難しいかなと思ったりもしましたが、指導の場ではそのような点はいかがでしょうか。

(瀧沢葉子 国語科専門部会長) 学習指導料要領では、1・2年、3・4年、5・6年で学習事項が枠組みをされていますので、教材をどのように配置するかはそれぞれの発行者のお考えや工夫があつてのことだと思います。その文章の内容についての難しさも、その学年に応じたその取り上げ方、あらずじを取り上げるのか、描写を取り上げるのかというような重点を決めてやっていくことによって、学年に合わせていく必要はあると思います。

(内田みどり 委員) 例えば、振り返ろうという吹き出し形で様々なヒントを与えているところがあります。そのヒントの与え方として、これは与えすぎかなと思うところや、その指導のバランスとして、どの程度のものがと感じたところがありました。こんなにヒントを与えては気づきがないのではないかと思うところもありましたが、指導する側でそのような点はいかがでしょうか。

(瀧沢葉子 国語科専門部会長) 振り返りの内容の詳しさについては、詳しくればよいというものでもありませんが、様々な子どもがいますし、小学校の場合は国語を専門とした教員ばかりではなく、全教科を担当しているところを考えますと、その詳しさについても、詳しくすぎるから悪いということもないと思います。適切な内容で、全てそれを授業でうまく使っていくということになるかと思えます。

(内田みどり 委員) 続いて書写について、左手で毛筆を書く場合のセッティングがありましたが、指導の内容の記載はありませんでした。毛筆を左手で書くことは、入り方や点の打つ場所などとても難しいことであると思いますが、そのような点での指導はいかがでしょうか。

(瀧沢葉子 国語科専門部会長) 二次元バーコードなどを読み取って、左手での書き方について言及している情報もあります。また学校では、例えば硯の置く場所など左利きの子どもたちにも対応した指導を行っております。左手で書く難しさとして、角度が違うというところもありましようが、どの発行者も左利きの児童に配慮した内容になっております。

(谷島大 委員) 各教科に二次元バーコードによるデジタル教材資料がありますが、国語において、このデジタル教材資料を、授業の中で活用する機会はあるのでしょうか。授業の中で使うものなのか、自主的に使うものなのかというような活用方法が、国語の場合にイメージがしにくかったので、学校での指導での活用の仕方について伺います。

(瀧沢葉子 国語科専門部会長) 例えば、作者へのインタビュー動画などは一斉に見てみようということもあろうかと思えます。また、子どもたちが探究的な学習をした最後に学習のまとめをしていく際の振り返りのためにそのデジタル教材を見ることや、伝統的な教材が入っていますと用語や背景の理

解が難しい場合もありますので、そういうことについてはデジタル教材で子どもが主体的に学ぶということはあろうかと思えます。

教員も工夫しながら、二次元バーコードの教材について、活用していくことになろうと思えます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続いて「社会」及び「地図」の説明をお願いします。

(石田賢一 社会科専門部会長) 社会科部会につきましては、3者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、二次元バーコードが見開きの右下に配置されており、動画や資料を容易に入手、活用することができます。重要な用語をことばとして別枠で解説が記載してあるため、本文をより理解しやすくできるよう工夫されています。まなび方コーナーを適宜配置し、より学習活動の質を高め、内容の理解を深められるようにしています。ドラえもんのキャラクターが、4つの見方・考え方を示し、学習活動の方向性について明らかにしています。単元が、つかむ、調べる、まとめる、いかすという構成となっており、めあてや学習問題がはっきりと見やすく示されていることで、問題解決的な学習を展開できるようになっています。学習内容が増える第5・6学年は分冊になっています。

教育出版株式会社は、二次元バーコードが必要に応じて配置されており、動画や資料を容易に入手、活用することができます。学習する上で重要な語句をキーワードとして提示されており、さくいんでは太字になっています。見開きごとに、この時間の問いが記載されており、考えたり話し合ったりする具体的な視点が示されています。単元が、つかむ、調べる、まとめる、つなげるという問題解決的な学習の構成になっているとともに、各時間に、次につなげようが示され、単元を通して学習活動を展開する意識が持てるよう工夫されています。単元の終わりに、もっと知りたいコーナーがあり、学習を深められるつくりになっています。

日本文教出版株式会社は、二次元バーコードが配置されており、動画や資料を容易に入手、活用することができます。キーワードが詳細つきで載っています。単元の中に、話し合う、深めあう機会を多く設け、学習内容を多角的多面的に理解できるようにしています。脚注インデックスを設定し、社会科の学習を進めるうえで、主にどのような力をつけるページが分かるように示されています。学び方・調べ方コーナーがあり、学び方や調べ方、表現の仕方などが分かりやすくまとめられています。各単元の最終ページに、未来につなげるがあり、問題をさらに調べたり、意識を高めたりすることができるような工夫がされています。SDGsとの関連を意識させる構成になっており、様々な課題に対して探求していくことへの意欲を持てるようになっています。

続いて、地図帳につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、地図帳の導入として、親しみやすいキャラクターがガイドしながら、地図の基本を丁寧に学べるよう工夫されています。ポップ、ステップ、マップでジャンプで、地図を見ながらクイズや作業に取り組むことができます。地形、気候、歴史、伝統文化などの多様な主題図を掲載することで、児童がそれぞれの関係性を考えられるようになっています。冒頭の多様なイラストを掲

載した地図から児童が様々な発見をして、社会的事象への関心を高められるように工夫されています。二次元バーコードによるコンテンツには、白地図や都市図、地形がわかるドローン動画、クイズなどが掲載されています。使用している用紙が、光の反射が少なく見やすくなっています。

株式会社帝国書院は、地図マスターへの道を各所に配置し、地図に対する興味、関心を引き付け、活用技能や知識が身に付けられるように工夫されています。方位や地図記号などの地図のやくそく、さくいんや縮尺などの地図帳の使い方までを段階的かつ丁寧に説明しています。自然、災害と防災、産業、貿易などのテーマの資料図・統計を掲載し、地図と資料や写真と関連付けて学習が進められるようになっています。二次元バーコードによるコンテンツには、動画やクイズ、アニメーション、VRなどの豊富なコンテンツが掲載されています。地図・写真を美しく鮮明に表現するために、通常の4色印刷ではなく、5色刷りになっています。

これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(矢野誠二 委員) 以前、担当指導主事にも質問した件について、改めてここでもお伺いしたいと思います。東京書籍の場合に、高学年が分冊になっています。授業の進め方にも大きく関連し、内容や単元によって歴史とそれ以外の関連を考えて分冊になっており、持ち帰りの際の本の厚みや重さ等も変わってくると思いますが、授業の中でこの分冊になっているメリットまたはデメリットがあれば伺います。

(石田賢一 社会科専門部会長) まず、メリットは分冊にすることにより軽量化が図れるというところはあると思います。他教科の教科書等も持ち帰ることを考えますと、分冊化によって少量ではありますが、重量が軽くなるということはあると思います。

一方、デメリットは、例えば小学校6年生においては、公民分野と歴史分野という2つの分野があります。その双方が独立しているものもあれば、関連するものもありますので、そのような際に、1冊であれば1つの教科書で見ることができそうですが、2冊であればその都度指示をしなくてはいけないというところはあると思いますが、それほど機会は多くないと思います。

(内田みどり 委員) まず社会科について、どの教科も当てはまりますが、キャラクターが多くなってきていて、ドラえもんは目に付くすごく良いキャラクターであると思いましたが、子どもの顔だけのキャラクターを文章の前に描いている教科書が2者ありました。私にはこれが見にくく感じました。このキャラクターはページによって笑ってみたり、考えてみたりと表情を変えています。そこには名前がついておりません。病気の1つに失顔症というものがあり、100人に1人程いると言われていますが、その子が見たときに、これを理解できるのか、覚えられるのかということをおもいました。失顔症の子どもがアニメを見るときに、顔は分からないけれども洋服などで判断して理解するという説明を受けたことがあります。顔だけのキャラクターでその顔の表情を変えてしまうと、このキャラクターは何さんだったかなということがあるのではないかと思います。また先生から、冒頭に書いてあるキャラクターの名前を伝えて、その顔だけのキャラクターの何々さんは何て言っていますかと聞いたときに、判断がつかない場合もあるのではないかと心配します。できることであれば、その顔キャラクターに名前がついていることがベストであると思いますが、指導の中でキャラクターに名前がないことの不自由はないかということをお伺いします。

(石田賢一 社会科専門部会長) まずドラえもんを使っている発行者がございます。ドラえもんについては、子どもたちが周知しているものですので、特に名前がなくてもわかるというところはあると思います。

子どもの顔だけのキャラクターが発言をしているというところがありますが、我々の調査の中で気が付いたこととしては、このキャラクターの子がこういった立場で話すというよりも、今までのように教科書に書いてあることを教師が一方的に教えるということではなく、子どもたちそれぞれが気が付いたことをセリフとして入れることで、子どもたちが改めてその視点で話し合い活動したりするためのものであるのかなというように捉えております。

それぞれ個性のある児童が中にはおりますので、そのようなことが不得意に感じてしまったり、負担に考えてしまったりする子もいると思いますが、そのキャラクターを通して学ぶというよりも、子どもたち自身が発言しているというような視点で書かれていることが多いかなと考えております。

(内田みどり 委員) そのキャラクターは、ページによって髪飾りの色を変えていたりもします。それもどうなのかという疑問もあって気になりました。

続いて地図について、2者の地図のうち、一方の発行者の方は様々な情報が多く載っていて、初めの説明から情報が盛りだくさんで、説明も大人が見ても面白い地図だなと思いました。ただ、これを3年生から使った場合に、この地図を使いこなせるかなという心配があります。3年生の指導の中で、どの程度の頻度で地図を使って学習するのか伺います。

(石田賢一 社会科専門部会長) 3年生では多くの学校で、地域学習として自分の学校のある地域を中心に学んでいくこととなります。市教委からの提供を受けた学区の地図などの見方として、例えば上が北であるとか下が南であるとか、色の分けけとして緑色が低い土地であるというようなことを学んでいくということを考えていきますと、3年生の段階から、地図帳を使って学習していくというよりも、地図帳を使って補完的に子どもたちが地図の見方を学んでいくというような形になると思いますので、地図に書かれている内容は、子どもたちの発達段階に応じて、こまめに変えていくものであると思いますので、3年生からということはやはり厳しいところもあるかとは思いますが。

(谷島大 委員) 社会科においては、3年生や4年生では、その地域の学習が中心になると以前に説明を受けまして、その中では、上尾市や埼玉県の副読本を使って授業を進められるということでした。そこで、参考までに伺いますが、その副読本は、教科書の発行者が作成しているものなのでしょうか。

(石田賢一 社会科専門部会長) 上尾市に関する副読本につきましては、市教育委員会事務局で作成しており、埼玉県の副読本につきましては、今回の教科書発行者ではなくおそらく県内の出版社が作成しているというように理解しております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理人) 続いて「算数」の説明をお願いします。

(吉田充 算数科専門部会長) 算数につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、適用問題や単元末に、たしかめようの問題があります。デジタルコンテンツが充実しており、コードを読み込むと追加問題が出てきて繰り返し問題に取り組めるようになっていきます。ノートの作り方を例示したり、似ているところや間違いを探す問題を設定したりして、思考力や判断力、表現力を高める工夫が見られます。日常生活の具体的場面を取り上げ、興味・関心をもって学習に取り組めるようにしています。ますりん通信コーナーでは、算数にまつわる面白い話を紹介するなど、興味・関心を高めるような工夫が見られます。また、デジタルコンテンツで操作活動を可視化して、見通しをもって、思考を働かせながら学習に取り組める工夫がされています。

大日本図書株式会社は、単元末のたしかめ問題、巻末のプラスワン問題など、多くの問題が用意され、個に応じた学習が行えるようになっていきます。考え方を説明したり、考えを表し直させたりする問題で、思考力や判断力を育む工夫がされています。学習過程の中で、考え方が明確に示され、思考力・判断力を働かせながら学習を進めることを意識した構成になっています。巻頭で算数の学び方、ノートの使い方、算数の大切な考え方を示すことで、学び方や授業の流れについて詳しく説明されています。身近な題材を元に課題が設定されている他、学んだことを生かそう、算数たまたま箱などのコーナーで、興味をもって主体的に学習活動に取り組める工夫がされています。

学校図書株式会社は、めあてとまとめが大きなフォントで濃く書かれ、ノートの活用例も大きくて分かりやすいです。単元末の、できるようになったこと、学びをいかそうで、学習の定着を図る配慮がされています。考え方モンスターというキャラクターで数学的な見方、考え方で捉えるための手立てが興味深く示されています。導入で、はてなを発見のコーナーを設け、日常生活の具体的場面から興味・関心・意欲をもって取り組めるよう工夫されています。算数をつかったのコーナーでは、SDGsや身の回りの安心・安全と、生活の中の算数とを関連づけて考えるようにしています。AB版の横長の作りで、書き込みや計測、作図等の活動が広く行える工夫がされています。

教育出版株式会社は、押さえておきたい言葉は太字や色付きで示され、動画でも確認できるようになっています。よくある間違いを提示するなど学習事項を定着させる配慮がされています。話し合いの場面が多く、児童と一緒に考えられるような工夫や、めあてやまとめが、はてな、なるほどと吹き出しで表され、児童の言葉で課題を立てたり、まとめたりすることを意識しています。広がる算数、学んだことを使おうでは、算数で学んだことを実生活に生かしてみたいと思わせるようになっています。算数ワールドでは、生活の中の興味深い算数の話が紹介されています。つながるミカタでは、キャラクターの吹き出しと共にどんな見方ができるか分かりやすく書かれています。

株式会社新興出版社啓林館は、毎時間学習のめあてが提示され、押さえておきたい言葉を太字や色付きで示したり、デジタルコンテンツでよくある間違いを説明したりするなどの工夫が見られます。巻頭に、算数ノートを作ろうがあり、思考力や表現力を育てる工夫がされています。学びを生かそうやってみようでは、学習したことをもとに楽しい問題を解いたり、算数ポケットでは日常生活の中の算数から、興味・関心を高めて算数のよさを感じさせたりするような工夫・配慮が見られます。写真が多く用いられ、見やすい作りになっています。実際に具体物を図るなど、実生活と結びつけて考えたり、SDGsと関連づけて生活の問題を算数的に捉えさせたりするような工夫がされています。

日本文教出版株式会社は、新単元の前に、次の学習のために、単元末に、わかっているかな、たしかめようがあり、既習事項の確認、学習内容の定着を図れるようになっていきます。巻末の、算数マイトライでは、3段階のレベルで学んだことを広げたり深めたりする工夫がされています。巻末に、学

び方ガイドが示され、見通しをもちながら主体的に学習を進めていく上で役立つ工夫がされています。自分でみんなでは、考えを説明したり、似ているところや違っているところを話し合ったりすることで、実感を伴いながら学べるようになっていきます。つかってみよう、なるほど算数では、算数の興味深い話を生かしたり試したりしながら活動に取り組めるようになっていきます。

これで、報告を終わります。

（大塚崇行 教育長職務代理者） 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

（小池智司 委員） 私は、算数は予習や復習がすごく大事であると思っています。予習や復習で習得していかないとどこかでつまずいてしまい、その後の算数がどんどん嫌いになってしまって、算数が分からなくなり、算数がさらに嫌いになってくるかと思っております。その中で、各発行者の最後のところに、内容を補うための復習であるとか、確かめようとか、様々な資料がありますが、その資料は授業の中で使ったりするのか、それとも子どもたちが自主的にそれを利用して家庭学習などに利用したりするのか、指導の中での活用方法について伺います。

（吉田充 算数科専門部会長） 巻末等の確かめ的な問題につきましては、基本的には授業の中で取り組むことになっております。ただ、様々なお子さんがいますので、授業の時間の中で教員から示されたものをしっかりできる子もいれば、なかなかそれが大変な子もいるかと思っておりますので、その子に応じて、ここまでやろうであるとか、ここからはお家でやってこようなどの、そのような配慮をしながら進めているような実態は授業の中ではあるのかなと理解しております。

（内田みどり 委員） それぞれの教科書を見まして、基本的な計算の多さの違いなどは見受けられましたが、全体的に見やすい教科書が並んでいるかと思いました。例えば教科書によってはスピンというしおりがついている教科書が今回初めてあって、これもとても便利だなと感じました。

ただ、やはりモンスターのキャラクターが気になってしまって、それが好きな子は全部理解できるかもしれませんが、全員がこのキャラクターを好きなのかなとも思いました。このモンスターに意味合いを持たせていますが、他にも「だったら」や、「なるほど」とか、「はてな」などもあり、「だったら」については特に効果的だなということを感じていて、そのような言葉の方が指導する際によいのかなとも思いましたが、指導する側としてキャラクターの効果について伺います。

（吉田充 算数科専門部会長） キャラクターのことについては、部会の中でもいろいろ話題に出ました。親しみやすいキャラクターで1年生から6年生まで通年で扱われております。部会の委員からも様々な意見が出ました。例えば、このキャラクターがうまく合えばよいのですが、子どもによってはキャラクターの好き嫌いというところで、算数的なところとは若干意識がそれてしまうというような懸念もありました。また、一つの学校の中でも様々な教員がおりますので、これを学校として共通理解を図ってこれをやっていくとなったときに、どこまで共通理解が図れるのかなというところの懸念はあるというような意見が出されました。

（内田みどり 委員） ここは考えが分かれるところであるかと思っております。イメージ的に苦手な算数を克服するために、いかに楽しくということを考えて作られているということも理解できますが、男の子も女の子もまた様々な子もいる中でこれが正解であるのかということについて考えました。

(谷島大 委員) 印象として、それぞれの教科書で、問題の量などの情報量については、ばらつきがあるのかなと感じました。算数が得意な子と苦手な子によっても受け止め方が違ってくると思いますが、また教科書の重さなどにも影響してくる部分もあるかとは思いますが、指導するにあたって、教科書にある問題量はどの程度が適切なのか、また多いことや少ないことによってどのような影響があるのか伺います。

(吉田充 算数科専門部会長) 調査研究をしていて、発行者によって問題量やページ数に差があるということを感じました。部会の委員の中でも、どこに子どもたちの焦点を合わせるかというところが難しい問題であるというような意見は出ました。特に小学校の場合では、与えたものはやらなければいけないという意識が強いので、標準的なところである8割程度をやるのかどうかというところがあります。また、どの教科書にも二次元バーコードがついており、これ読み込むと補充の問題が出てきますので、これについては、できる子についてはここまでやってみようということもできますし、全員やらなくてもよいので、個人差に応じて取り組めるというメリットもあります。その辺りをうまく生かして、標準的なところの問題量については取り扱っていくことが、子どもにとっても教員にとっても負担が少ないのかなというように感じております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。ここで、10分間の休憩を行います。再開は、10時32分といたします。

～休憩、専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 休憩前に引き続き、会議を再開します。続いて「理科」の説明をお願いします。

(増田司 理科専門部会長) 理科につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、A4型で、まとめの文字がその他に書かれている文字よりも大きく、太くなっており、見やすくなっています。二次元バーコードが、実験や観察、まとめの部分など多くのところに掲載されているため、映像を見て理解を深めることができます。科学的な探究の過程を児童に意識させることができるような配列やデザインになっており、科学的な思考力を高められるようになっています。児童が日常生活で目にすることが多いであろう写真を挿入し、学習課題を身近なものとする配慮が見られます。どのような児童も内容を理解しやすいように、文節や改行などの配慮がされています。

大日本図書株式会社は、A4型で、問題は緑、結果は黄色、結論は青などと色分けされ、視覚的にも区別されています。巻末には、該当学年のまとめが掲載されており、多くのイラストや写真とともに、大切なポイントがまとめられていて復習しやすくなっています。既習事項や日常生活で見られる科学的な事物・現象を提示しながら話し合いをして問題を見いださせようとしています。単元の導入に日常生活の場面や社会で使用されている物が取り上げられており、日常生活の事例を写真やイラストで示しています。二次元バーコードから学習に関するリンクやウェブコンテンツが豊富に用意さ

れています。

学校図書株式会社は、A B型で、新出語句や重要語句が太字で強調されており、見やすくなっています。二次元バーコードが、実験や観察、まとめの部分など多くのところに掲載されているため、映像を見て理解を深めることができます。課題設定や考察の際に、児童のヒントとなるような内容がキャラクターの対話形式で示されています。問題発見のための活動があり、児童が自ら問題を設定するように意図されています。やってみようの活用や、もっとしりたいのページで学習した内容と日常生活との関連やその利用などがあげられています。巻頭に理科の学習で身に付けたい様々な力を理科モニターで表しています。

教育出版株式会社は、A 4変形型で、大切な言葉や新たに学習する言葉は太字になっているとともに、色が付いており、強調されています。巻頭に各学年で重視したい考え方とともに、大切にしたい言葉も掲載されており、より具体的に、また活用しやすいようになっています。問題設定を具体的にし、全ての児童が観察・実験ができるよう配慮しています。単元内にある資料や科学のまどなどとともに、巻末に他教科とのつながりも記載されており、横断的な学習ができるようになっています。巻末には、動画を活用するページ、ウェブずかんの記載があり、効果的にICTを活用出来るようになっています。

一般社団法人信州教育出版社は、学習したことの整理や理解の確認ができるように、観察カードの記述内容に配慮してあります。ふりかえろうのページでは、二次元バーコードから、ICT端末などで、たしかめようの問題に取り組むことができ、基礎的・基本的な事項の定着が図れるようにしてあります。また、学習問題、観察・実験、結論などは、簡潔に標記しており、追究の過程やポイントが的確に把握でき、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりできるようにしてあります。なお、プログラミングを扱う単元が設定してあり、論理的な思考を身に付けながら、プログラミングの意義が理解できるようにしてあります。

株式会社振興出版社啓林館は、A B型で、二次元バーコードが実験や観察、まとめの部分など多くのところに掲載されており、映像を見て理解を深めることができます。理科を楽しむ見方・考え方としてポイントとなる言葉に緑色のマーカーを引いてわかりやすくしています。活用しようでは、図や写真から情報を読み取る問題などを扱い、思考力、判断力、表現力を高めています。単元の導入に日常生活の場面や社会で使用されている物を取り上げられており、理科を学ぶ意義や有用性を児童が感じる機会が多くあります。理科室の使い方が教科書の途中で掲載されているため、年間の学習の流れに沿って、指導しやすくなっています。

これで報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) 昆虫の完全変体については子どもたちに実物を見せてあげたいくらいで、どの教科書も大変写真が綺麗であると思います。

理科の場合は問題があり、それを観察して結論に結びつけるということですが、この教科書に対して、特別に書き込めるノートのようなものはあるのでしょうか。それとも普通のノートを使っているのでしょうか。

(増田司 理科専門部会長) 一般的な普通のノートを使っているところが多いと思います。

(内田みどり 委員) 教科書ごとに取り上げられている順番が若干異なっていますが、先生の指導でノートを作り上げて結果を出していくという感じですか。

(増田司 理科専門部会長) そのとおりです。

(内田みどり 委員) 全ての教科書はきれいですが、その反面どの教科書も重たいということも感じております。

(矢野誠二 委員) 観察や実験で理解する上で動画や映像が見られるようになっていますが、全ての教科書の二次元バーコードを全部は調べられていませんので、動画や映像についてこれらの教科書の中で比較をして、その差があるのか伺います。

(増田司 理科専門部会長) どの教科書も動画も写真も非常に綺麗でわかりやすいです。あとはそれを見る子どもが、また指導する教員がそれをどう捉えるかで、多少の変化が出てくるかなと思いますが、大きな差はないと私の方では思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続いて「生活」の説明をお願いします。

(野本恭子 生活科専門部会長) 生活科につきましては、7者が発行しておりますこれらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、かつどうべんりてちょうには、活動に即して身に付ける習慣や技能、学び方等が掲載されています。上巻冒頭にスタートカリキュラム ときどきわくわく1ねんせいを掲載し、安心して学校生活をスタートできるよう配慮しています。単元に関連した写真やイラスト、つぶやき等が充実しており、学習意欲を高めるための活動を具現化するヒントとなっています。やってみようのページでは、単元ごとに発展的な資料や活動が示されています。対話する場面の絵が多く、具体的な活動のヒントや伝えあい、教え合いなどに役に立つように構成されています。

大日本図書株式会社は、せいかつことばや、きらきらことばを掲載し、語彙力を高めるとともに、人との関わりがより深まることを促す言葉を示しています。がくしゅうどうぐばこでは、学習に必要な資料が単元ごとに入っていたり、巻末にまとめられたりしています。発達段階に応じて、気持ちマークや自分の言葉で自分の思いなどを書く欄があり、書き込み欄が充実しています。上巻のえがおでこんにちは、下巻の春見つけビンゴカードでは、活動の視点を示すとともに、児童の意欲を高めるために有効なカードを活用できるようになっています。

学校図書株式会社は、各小単元に関連する内容に必要な知識や技能をものしりのうと、上下巻末にある学び方ずかんでは、他教科にも活用できる内容かつ、生活科の学習を進めていく中での基本的な技能を含めた内容は、活動の仕方や体験の広がりを見せています。発見カードなどの記入例が掲載されていて、児童の思考の手助けとなるように示されています。ものしりずかんでは、季節ごとに見ら

れる色とりどりの葉のイラストや野菜の花の写真などが掲載されています。また、対話している場面の写真を多く活用しているので、児童の自由な発想を引き出すことができます。

教育出版株式会社は、上巻のスタートカリキュラムに写真を豊富に掲載し、学校生活の様子が分かるように配慮しています。考えるページには、考えるためのヒントがイラストにされていたり、ワークシートの記入例も掲載されていたりして、表現活動のヒントとなっています。わくわくスイッチは、各小単元の導入段階で掲載されていて、イエスノーシート形式になっており、思わず自分から組みたくなる仕掛けになっており、自分の課題につなげる工夫があります。巻末の学びポケットは、他教科との学習と関連するとともに、各ページにもリンクしていて、活動の仕方や体験の広がりを示しています。

一般社団法人信州教育出版社は、各単元において、児童が自分や友達の生活・地域との関わりなどを通して自己の成長に気付くことができるように、構成が工夫されていたり、児童が公民館や図書館などの公共施設に自然と興味が湧くように、関連する単元間のつながりを工夫したりしています。また、活動の節々における感動体験、試す・確かめるなどの探究活動、自らの体験を見返し味わう表現活動を多様に示し、より深い学びや活動につながるよう、友達同士の学び合いや情報交換の場が位置付けられています。なお、デジタル教科書対応として、URL・二次元バーコードが目次に示されており、図鑑的要素が多数盛り込まれている構成となっています。

光村図書出版株式会社は、各単元に関する資料が、子供たちの活動の目的に応じて活用できるよう掲載されています。巻末にあるひろがるせいかつじてんは、活用に必要な情報が掲載され、充実した資料となっています。学習過程が分かる問いかけ、考えるためのヒント、ふりかえりの仕方が示してあり、学びの深め方が分かるようになっています。なかまずかんは、各季節の草花や昆虫が掲載されており、切り離しが可能で、野外活動で使用が可能です。また、学び方のヒントを全ての小単元に設定してあり、活動、表現のバリエーションを広げるヒントとなっています。

株式会社新興出版社啓林館は、スタートブック がっこうだいすき1ねんせいでは、入学前の活動経験と学校生活へのつながりや学校生活への期待が高められるよう紹介しています。またびっくりずかんLIVEでは、拡大縮小写真が掲載されていて季節の昆虫、植物について細部にわたり学習できるように構成されています。活動における内容、種類が多く掲載されていて、特にイラストは、活動をより具現化するヒントとなっています。活動の写真の吹き出しと共に活動のポイントが提示され、他教科との関連を図れるようにしています。単元ごとにわくわく、いきいき、ぐんぐんの3段階で構成され、段階ごとに学ぶ内容が示されています。

これで、報告を終わります。

（大塚崇行 教育長職務代理者） 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

（谷島大 委員） どの教科書も綺麗に作られていて、私のような年齢の者が見ても本当にワクワクするような内容になっていると思います。その中で、先ほどの理科の教科書でもこの生活科の教科書でも軽量化の観点もあるかと思いますが、各者で教科書のサイズが違うものが多いように思います。他の教科では、各発行者とも同じであったり、教科ごとにそろえられていたりしているよう思います。児童たちが扱うにあたって、持ち運びであったり、小さくなって見やすさであったりなどといったことで影響などはないのかなと感じます。それらのことについてどのように考えているか伺います。

（野本恭子 生活科専門部会長） A4版、A4変形版、AB型と、各発行者で異なります。教科書

は学校の判断で学校に置いていってよいこともあります。生活科に関しては持ち帰るパターンが多いように考えておりますが、ただ、厚さにはそれほど差はありませんので、特にその辺は私達は気にならないところではありました。

(内田みどり 委員) 生活科は、児童が小学校に入学して、学校の探検やまち探検などで安全など様々なことをその中で指導いただいているとても重要で大切な教科であると思っております。さらには、理科や社会、道徳にも関わってくる教科だと感じています。

ある教科書の中で、吉武先生の絵を使って説明されているところがありました。大人の心にはとても刺さるイラストや4コマ漫画のようなものでしたが、小学校一年生が理解できるかなということが気になりました。その点はいかがでしょうか。

(野本恭子 生活科専門部会長) 部会の中でも話題に出ておりました。例えば、文字よりもイラストや写真の方がわかりやすいよねということや、子どもたちなりに発想を豊かにして、自分たちが自由に発想したことや思ったことを発したりできるためには、このようなイラストや絵が大事なのではないかというような意見が出ておりました。これらをうまく活用すれば、良い発想を具体的な部分に移していけるのかなというように思います。

(内田みどり 委員) 実際こんな形というように写真で説明した方がよいのかどうなのかと悩んだところがありました。

もう一点は、東京書籍の教科書の中で保護者の皆様へというメッセージで、小さいですが大切なことがそこに書かれていました。この部分はもしこの教科書を採用した場合には、学校から保護者の皆様に、このようなことが書かれていますというようなアプローチは行われるのでしょうか。それとも、保護者が気づくまで言わないものなのか、そこについて伺います。

(野本恭子 生活科専門部会長) そこに関しては、保護者の方からご質問があればそれにお答えしていく形にはなりますが、基本的には与えられた教科書というところで、教師の方の力量でしっかりと教材研究をして進めてまいりたいというように思います。

(小池智司 委員) 写真も綺麗で、例えば実物大の大きさのものが載っているなど、それぞれ様々な特徴があって、興味深く見やすいような感じがして、子どもたちも興味をそそられるなというように思います。その中でも、例えば花の種から芽が出てということが、教科書の端のところでページをめくると出てくるような教科書の作りもあれば、次のページに載っているような作りもあり、私はどちらかと言えば、ここに載っていたものが、めくるとすぐまた次のものが載っているというような形の方が子どもたちの興味は深くなるかなと思っています。教科書の作りは各発行者で様々な特徴があると思いますが、子どもたちが興味を持つという点ではどちらがよいということでは何かあるのか伺います。

(野本恭子 生活科専門部会長) 各発行者ともよく研究されているので、それについてはそれぞれの工夫されている良さがありますので、このほうがよいというところは言えないところありますが、ただ、写真やイラストは各発行者のどこも素晴らしいというように思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続いて「音楽」の説明をお願いします。

(熊坂由美子 音楽科専門部会長) 音楽科につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

教育出版株式会社は、指導する技能面が焦点化され、発達段階に即した技能の定着に配慮されています。実物大の写真、楽器や演奏者の写真を多く取り入れ、児童が見て分かりやすい紙面構成となっています。学習すべき音楽を形づくっている要素を、音楽のもとという児童が理解しやすい言葉で表記しています。身体活動を取り入れたり、主体的に思考・判断して表現に生かしたりできるような教材が選曲されています。児童一人一人の思考・判断を促すような問いや、学習の過程が示されています。まなびリンクという二次元バーコードが示され、児童が一人学びもしやすい工夫がされています。SDGsの視点や社会の多様性を尊重する態度を育むような選曲となっています。

株式会社教育芸術社は、一つ一つの題材が同じ指導事項で統一して作成されています。各教材では音楽を形づくっている要素に着目して、活動する過程が具体的に示されています。活動が見える化し、思考を刺激するような児童の作品や話を想定した吹き出しなど、児童が思いや意図をもつために必要な例が示されています。音楽づくりや鑑賞のサポートをするムーブの部屋という二次元バーコードがあり、児童が思考を深められる工夫があります。どの教材にも、共に学ぶ例が具体的に示され、児童は主体的かつ協働的に学習を進めることができます。掲載されている楽曲は生活の中で耳にする音楽など身近なところから選曲され、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育む工夫がされています。これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) 2つの発行者で、説明する度合いが違っているということを感じたところで、一方は活動の過程が具体的に書かれていて、もう一方は子どもたちに深く考えさせるためにあまり詳しくは書かれてないなという感じを受けました。音楽を専門としてない教員の方も多くいらっしゃると思いますが、そのような先生が指導するにあたっては、説明が少ないと授業をしづらいのかなということを感じたりもしています。指導するにあたっては様々な説明があった方がよいのか、平均的に考えれば、説明があった方が全体的に同じように指導ができるというように捉えてしまいましたが、その点での教科書の違いについてはいかがでしょうか。

(熊坂由美子 音楽科専門部会長) 部会でも話題になりました。例えば、教育出版株式会社の方が、比較的経験年数の浅い教員も教えやすいような配列になっており、また株式会社教育芸術社の方は、選曲が子どもたちに親しみやすいものとなっておりますので、指導していく上ではどちらを選ぶかは難しいというところが話題にはなりました。

(内田みどり 委員) 教育出版の方が若い先生でも指導しやすいということでしたが、私は逆かなと思

いましたが、いかがですか。

（熊坂由美子 音楽科専門部会長） 教育出版株式会社は、後半部分に発展の楽曲がかなり多く含まれており、そちらも全て指導しようとするのが難しい印象はありますが、前半部分につきましては「音楽のもと」など、子どもが分かりやすい言葉、また若い教員も分かりやすいような言葉で示されているという印象がありました。

株式会社教育芸術社は、吹き出しの工夫がたくさんありましたので、子どもたちが自らの思考を次はどのようなことを学ばよいかということが分かるような流れになっていましたので、意図をもって学ぶというところでは、そちらもまた魅力的であるというような印象がありました。

（大塚崇行 教育長職務代理人） 2つの発行者の特徴として、二次元バーコードの使用という部分で両者に特徴があるように思います。教育芸術社は、比較的それが多くあり、音階だけを単純に示しているというものでした。一方、教育出版は、数は少ないですが、資料的な部分というのが多いものでした。音楽の場合では、音を聞くという部分では二次元バーコードを使うことがあるのかなと思ったので、この違いについて伺います。

（熊坂由美子 音楽科専門部会長） 部会の方でもその件については話題になりました。教育出版はワークシートなどデジタルコンテンツが充実していましたが、教育芸術社はつきましても、ムーブの部屋という二次元バーコードで子どもたちが思考を深められる工夫がございましたので、どちらも学習者用端末を子どもたちが活用して、同じように使えるのではないかとということが話題になりました。

（大塚崇行 教育長職務代理人） 他に質疑、意見はございませんか。

（大塚崇行 教育長職務代理人） ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

（大塚崇行 教育長職務代理人） 続いて「図画工作」の説明をお願いします。

（豊田好伸 図画工作科専門部会長） 図画工作科につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

開隆堂出版株式会社は学習指導要領の目標を受け、育成を目指す3つの資質・能力をバランスよく配置し、児童が意欲的に学習できるよう配慮されています。具体的には、知識及び技能の習得では題材ページに技能の説明が分かりやすく提示され、自分の感覚で材料・用具を選んで取り組みたくなるように工夫されています。思考力・判断力・表現力の育成では、題材毎に振り返りの視点が具体的に示されています。また、創造的な発想や構想することができるように写真や吹き出しを利用し、イメージが広がりやすい紙面構成となっています。学びに向かう力、人間性等では学習のめあての重点目標に下線が引かれています。重点に合わせたキャラクターも設定されているため、児童が活動のねらいを意識しやすくなっています。資料に関しては二次元バーコードが全ての題材や鑑賞ページに記載され、用具の安全な使い方や作り方などの動画や、教科書に掲載されている作品以外の参考作品を見たり、発想や構想、振り返りなどに使用できるワークシートをダウンロードし、活用することができるなど、関連する情報へのアクセスが容易にできるようになっています。

日本文教出版株式会社は学習指導要領の目標を受け、活動が主体的・対話的で深い学びへ向かうよう、4つの投げかけを示しています。具体的には、知識及び技能の習得では巻末の材料と用具の引き出しのページが技能のカテゴリー別にまとめられていて、用具の使い方や表現技法などの必要な情報を探しやすくなっています。思考力・判断力・表現力の育成では、育成すべき3観点がマークで示され、分かりやすく表示されています。特に大切なめあてのヒントは枠で囲まれ指導しやすく工夫されています。また、児童のつづやきが吹き出しで示され、自分自身の見方や感じ方を深め、発想を広げる有効な手立てとなっています。学びに向かう力、人間性等では材料や場、活動方法が幅広く題材に取り入れられています。また、全ての題材に鑑賞の視点が示されており、表現と鑑賞の一体化が図られています。資料に関しては、二次元バーコードから用具の使い方等、動画を視聴することができ、児童が自分で確認しながら学習を進めることができるよう工夫されています。また、紙面構成が統一され、使用されているイラストやマークもシンプルで、ユニバーサルデザインに配慮しています。

これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理人) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) 開隆堂出版は全体的に見やすく、綺麗で、吹き出しの使用も効果的で、SDGsの紹介もよかったと感じています。子どもたちの笑顔も素敵で楽しそうな本になっていると感じました。

日本文教出版は、教科書に美術館の紹介があったりするなどはよかったところですが、残念に感じてしまったのはマスクをつけた子どもの写真で、このマスク姿の子どもの写真の目だけでは表情が読み取れないという感じがありますが、指導する側として、教科書としてこのマスクの写真についてはいかがでしょうか。

(豊田好伸 図画工作科専門部会長) 指導者としては、吹き出しもあり、写真もあり、学習の流れ等も2者ともに適切にできているなというような印象ですので、マスクを子どもがしていることが授業に影響するということはないと考えております。

(大塚崇行 教育長職務代理人) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理人) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理人) 続いて「家庭」の説明をお願いします。

(松澤歩 家庭科専門部会長) 家庭科につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、2学年分が15単元で構成されており、内容がよく整理されています。各単元の学習の流れが、見つめよう・計画しよう・実践しよう、生活に生かそう・新しい課題を見つけようの3ステップで示されており、各単元に活動として、問題を解決するための活動が示されています。また、各単元に思考ツールを活用するトライシートが作成されており、導入場面での思考を深める工

夫がされています。用具や手順が写真で示されています。巻末に実寸大の写真が掲載されていて、自分の手と比較できるように工夫されています。

開隆堂出版株式会社は、2学年分が20単元で構成されており、スパイラルで学習できるよう工夫されています。見通しをもって学習を進められるよう、各単元のめあてが、気づく・見つける、わかる・できる、生かす・深めるの3ステップで示されており、考えよう、調べようといった問いかけが示されています。児童が端末で使用できるワークシートが多く掲載されていて、話し合ったことを記入できるなど、特に対話的な学びを充実させる工夫がされています。用具や手順が写真で示されています。作業の流れが横一列になるように、誌面の構成が工夫されています。

これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(谷島大 委員) 2者で単元数が大きく異なっています。開隆堂出版ではスパイラルで学習できるとありますが、このスパイラルで学習ということはどういうことなのか伺います。

(松澤歩 家庭科専門部会長) 東京書籍では、整理、掃除や住居や衣服の学習で冬を明るく暖かくするとか、夏を涼しく爽やかにするというようなことの、夏や冬の快適な過ごし方が一つの単元にまとめられており、その中で住まい方や衣服のことを学びます。一つの単元によく整理されてまとめられていると思います。

開隆堂出版では、そこが衣服の部分と住生活の部分とで単元が分かれておりまして、それを5年生と6年生で分けて学習するというので単元数が変わっております。それが5年生と6年生で繰り返し学習するという形なので、思い出しながらできるような工夫がされていると思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 家庭科では、針を使ったり火を使ったりということで安全面に対する考慮が必要になってくるとは思いますが、そのことについての2者の違いや専門部会での話し合いについて伺います。

(松澤歩 家庭科専門部会長) 2者とも安全面に対する配慮がされております。また、二次元バーコードを読み込むことで、安全な包丁の使い方やコンロの付け方など、安全に使える工夫も動画で見ることができ、子どもたちが学習者用端末で確認できるようになっておりますので、全体の指導の他に子どもたちも適宜必要に応じて確認できるような工夫がされております。

(内田みどり 委員) 家庭科の授業でミシンを使う授業があると思いますが、自分の子どもの中には、ミシンのセットを購入してミシンの授業を受けましたが、そのようなセットはこの教科書と連携しているセットということではなく、別なものとして購入してエプロンなどを作るのでしょうか、それとも教科書と連携しているものなのでしょうか。

(松澤歩 家庭科専門部会長) 作る目的等の中で、子どもたちに内容に応じて一つ一つ選択させるということは、指導が難しい場面がありますので、最近はキットを購入して、同じようなもので指導することが主流になってはいますが、単元と関連したものを作成しております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。ここで、午前の協議をいったん終了し、休憩といたします。再開は、午後 1 時 10 分といたします。傍聴の方へ申し上げます。この後、事務局から連絡がありますので、そのままお待ちください。

～休憩、専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 休憩前に引き続き、会議を再開します。午前中に続きまして、残りの教科につきまして、協議を行います。続いて「保健」の説明をお願いします。

(勝雄一 体育科専門部会長) 保健につきましては、6 者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、知識技能の習得について、学習指導要領に記載されている言葉を太字で強調し、実習・スキルコーナーを設け、技能習得を図る内容となっています。思考力・判断力・表現力の育成のために、資料から分かることを選択したり、記述したりする欄や、自ら考えを表現する欄が設けられています。学びに向かう力・人間性を涵養するために、各章の始めに、気づく・見つけるという項目で意欲を引き出し、学習を 4 段階のステップで進められるよう項目立てられています。実生活に生かす工夫として、スキル 身につけておくことと役立つことと明記し、活用を促しています。

大日本図書株式会社は、知識技能の習得について、イラストや図表を用いて学習内容を整理し、言葉の解説を添えています。実習・実際にやってみるところとして活動を促し、技能習得を図る内容となっています。思考力・判断力・表現力の育成のために、巻頭の折り込みページを開くことで、考えように取り組むヒントとし、短文で記述することで、考えを表現する欄が設けられています。学びに向かう力・人間性を涵養するために、夢や目標を書くことで、健康でいることの大切さを意識できる夢や目標をかなえるための項目があります。実生活に生かす工夫として、家で、地域でというマークを活用しています。

株式会社大修館書店は、知識技能の習得について、学習指導要領に記載されている言葉は、太字で強調し、解説 専門用語の説明も添えられています。やってみようの項目で活動を促し、技能の習得活用を図る内容になっています。思考力・判断力・表現力の育成のために、自分の考えを書き出したり、写真やイラストから情報を読み取ったりする活動を設定しています。学びに向かう力・人間性を涵養するために、ニュースや身の回りから健康・安全に関わることや、体育と関連して学ぶ内容が示してあります。実生活に生かす工夫として、もっと学びを広げよう、深めようで理解を深める構成となっています。

株式会社文教社は、知識技能の習得について、学習指導要領に記載されている言葉は、太字で強調し、難しい語句については、解説が加えられています。不安や悩みの対処法として、実習が紹介されています。思考力・判断力・表現力の育成のために、課題の解決方法をイラストやグラフを中心に掲載したり、自ら考えを記述する欄が設けられ、例文が吹き出し形式で掲載されたりしています。学びに向かう力・人間性を涵養するために、次の学習へのヒントを示すことで主体的に学べる内容になっています。実生活に生かす工夫として、文章やイラストを中心に実生活へ生かすための詳細な情報が掲載されています。

株式会社光文書院は、知識技能の習得について、学習指導要領に記載されている言葉は、太字で強調し、専門用語の説明も添えられています。やってみようの項目では、けがの手当の仕方など、実技

が紹介されています。思考力・判断力・表現力の育成のために、課題解決に向けた方法について、3段階で生まれ、資料を中心に構成されたり、自分の考えを友達に伝えたりするための記述欄が設定されています。学びに向かう力・人間性を涵養するために、心と体の健康を保つ重要性が伝わる作家やクリエイターのインタビューが載っています。実生活に生かす工夫として、知っておくためになる知識が多く掲載されています。

株式会社Gakkenは、知識技能の習得について、学習指導要領に記載されている言葉は、太字で強調し、難しい語句や事例の解説が記載されています。ケガの手当やリラックス方法等、実技が紹介されています。思考力・判断力・表現力の育成のために、課題解決の方法として、資料から分かることを書き込む欄が多く設けられ、その欄は、記述式として設定されています。学びに向かう力・人間性を涵養するために、振り返ろう、予想しようなど、楽しみながら学習に関わる課題をつかむ構成となっています。実生活に生かす工夫として、お家で、地域でというマークを活用して、活動を促しています。

これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(矢野誠二 委員) 専門部会の多くの先生方の中で、課題等を含めて特に話題になった点について伺います。というのも、この選定資料を見ると、大きな差がないような気がしています。指導する上での先生方の意見が同じようなものであったとは思えないので、抽象的な質問で申し訳ないが、意見や話題になった点を挙げていただきたいと思います。

(勝雄一 体育科専門部会長) 部会の中で多く出た意見は、この学習指導要領の内容にどの会社もしっかりマッチしているということでした。その中でも授業をしていく上で、この保健で学んだことをいかに自分の生活行動に映していくかということ部会員と話し合いまして、学んだことを実生活に生かすということについては、話題になっていました。それを中心に話していても、6者とも、家庭や自分の生活に生かすという工夫等が多くされています。

(矢野誠二 委員) 例えば、学習指導要領に記載されている言葉を太字等で強調するということは、各者が行っています。また、実生活に生かすことも、文言は違いますが、ほぼ同様にマークなどで活動を促す工夫がされています。比較してみてもどの発行者も同じようで、大きな差が分からなかったのので、専門部会で特にどのようところが話題になったのかを知りたかったということです。先ほどの説明以外に、特筆すべき特徴の差は出なかったでしょうか。

(勝雄一 体育科専門部会長) 授業をするにあたっては、もちろん子どもにどのように知識を身に付けさせるかということが大事ですが、その知識を身に付けさせるために、教員がどのように授業をしていくのかということについても部会員で話し合いました。ただどの発行者も、始めに、めあてや課題を自分で設定して、資料、グラフ、図などをしっかりと読み取って、最後にまとめて発表していくというような構成に大きな差はなく、どの教科書も工夫されているということが実感です。

(内田みどり 委員) 保健というと体のことなどが中心になるのかなと考えていましたが、例えば不安があるときの相談窓口の紹介や、意外だったのは公衆電話のかけ方の紹介がありました。分からない

子もいると思うので、それらのことを学ぶことは大切で、必要なことであると感じました。

また、思春期の悩みについて、思春期のことはオープンにできないことがあると思いますが、教科書の中には、お父さんの話やお母さんの話について、こういうことをお父さんやお母さんから聞くと、自分のことも打ち明けやすくなるのだなということも、この本で表現ができていたということが私はよいことだなと感じたところです。いくら本で習っても、これは親に言ってよいのだろうか子どもは悩むと思います。そこで、このようにお姉さんの話やお兄さんの話とあると、子どもはお母さんやお父さんに相談してよいのだということが分かるなということに気がつけてよかったと思いました。

また、自然災害、事故や怪我についても結びついてくる部分なので、各者の教科書はそれぞれに良さがあって、本当に選びにくいと感じています。他の勉強とまた違って、実生活と結びついてくるころなので、とても良い題材をあげていると感じたところでございます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 今あまり違いが見られないというところでのお話があったのですが私はちょっと違いがあるなと思ったのが考える中での3ステップとかですね、4ステップとかいくつか項目が分かれています。例えば、G a k k e nでは、3ステップで、「振り返る」、「話し合う」、「学びを生かす」とシンプルになっています。他の発行者では4ステップや5ステップまでありました。私としては、ステップが少ない方がシンプルで、話が深められるかなというところもありますが、そのことについては専門部会での議論はあったのか伺います。

(勝雄一 体育科専門部会長) 段階につきましては、部会員の中でも話題に上っております。3つ、4つ、5つとそれぞれ段階数に違いはありますが、大きな流れというのは、6者ともほぼ同様の流れなので、3ステップだとしても、授業の流れの中で、その教員がまた細かなものを入れることによって、4つでも、5つでも、という形にはなってきますので、6者ともよい流れであるということを確認しております。

(小池智司 委員) 実際の保健の授業の際には、児童が聞いた内容などを書き記すノートなどはあるのか伺います。

(勝雄一 体育科専門部会長) 付属のワークシートを印刷したり、教員のオリジナルのものを作ったり、教科書に書き込む欄がある場合には教科書に直接書き込んだりなど、様々な方法がありまして、板書をそのようなものやノートに写したり、自分の考えを書いたりしております。

(小池智司 委員) 各教科書の中で、書き込みができるところが豊富にあるものもあれば、少ないものもあるので、書き込めるところが多いことや少ないことによる使いやすさなどについて伺います。

(勝雄一 体育科専門部会長) 子どもの机の上のスペースは限られ、そこに教科書を置いて、ノートを置いて、筆箱を置いて、タブレットを置いてとなりますと、かなり煩雑になってきますので、教科書に書き込めるものも有効であるという話や、自分で見返したときに、意見を思い起こして、新たな考えが浮かんでいくという点ではノートも有効であるというような話も出たりしてましたので、それぞれの良さがあるというところは確かであると思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続いて「英語」の説明をお願いします。

(大平篤 外国語科専門部会長(代理)) 外国語につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。外国語の調査の際の観点は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫、学びに向かう力・人間性等を育成するための工夫、聞くこと・読むこと・話すこと やりとり・話すこと 発表、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫という4点になります。

東京書籍株式会社は、各単元が導入、展開、まとめ、異文化理解という内容で構成されています。英語を使う日常場面が設定されており、単元の初めに目標が記され、見通しをもって活動することができます。紙面上のレイアウトを固定することで、学習の流れがわかりやすく、単元の後半では、学習目標の中心となるコミュニケーション活動の目的・場面・状況を明確に示して、何をどのように学ぶかがわかりやすいように工夫されています。年間3回、学んだ内容を整理して、発表するコーナーがあります。2年間通して活用できるMy Picture Dictionaryが別冊で附属していて、ジャンル別または50音順に英単語を調べられます。

開隆堂出版株式会社は、各単元の始めに目標と達成に向けためあてを示し、その習得に向かって、必要となる知識や技能を段階的に身に付けさせていくような活動が設けられています。インプットを中心に知識、技能を習得し、表現力を高める活動に繋がっています。巻末にCAN-DOチェックとして、4技能の観点で振り返るリストがあります。これらの活動にも目的、場面、状況が設定されており、話すために聞く、書くために話すといったように一連の流れの中で関連した言語活動が行われるように工夫されています。学年ごとにWord bookという別冊資料がついており、語彙力を高めるための工夫が見られます。

株式会社三省堂は、HOP、STEP、JUMPの三つの単元で構成されており、HOPでは学びの見通しをもたせる活動、STEPでは語彙や表現を増やす活動、JUMPでは実際の場面で表現する活動が段階的に設定されています。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、安心して学習を進められるように配慮されています。各単元初めの導入では一枚絵を活用してインプットし、Let's Listenなどでキーセンテンスを焦点化して学び、段階的にアウトプットに繋げることができます。2年間通して活用できるMy Dictionaryが別冊で附属していて、ジャンル別または50音順に英単語を調べることができます。

教育出版株式会社は、見る、聞く、口慣らし、歌う活動で慣れ親しみ、話す、書く活動に移行するような構成になっています。各単元では映像を見て概要を捉え、聞いて慣れ親しむ活動をした後に、自分の考えや思いを伝える活動へと繋がるように配慮されています。冒頭に1年間の目標を示し、児童が見通しをもてるようになっていきます。単元末には学んだ内容を観点別に振り返られるようになっています。6年生の最後の単元では、2年間で学習してきたことの総復習として自分のことを書き、小冊子My Bookにまとめる活動が組み込まれています。教科書の巻末にMy Word Bankという単語を調べられる資料がついています。

光村図書出版株式会社は、単元ごとにHop、Step 1、Step 2、Jumpの4部構成になっています。単元の初めに単元目標であるGoalが設定されています。単元末に4段階の自己評価と一言ずつ記入できる振り返り欄があり、これまでどんなことを学習してきたかについてまとめられるようになっていきます。Step 1、Step 2では、表現力を高めるためにLet's try、Plus Oneを関連づけて設定しています。学年別にPicture Dictionaryという

別冊資料が付いており、自分が使いたい表現を調べたり、音声で聞いたりして主体的に学ぶことができます。

株式会社新興出版社啓林館は、単元の前半は言語材料のインプット活動中心で、後半が表現力等を高めるアウトプット活動中心になるように構成されています。Chantは、アクセントを表示しリズムに乗ってキーセンテンスに慣れ親しみ、自分のことについて伝えられるようになっていきます。巻末にCAN-DO Listが設定されており、4技能5領域で振り返ることができるようになっており、学習意欲を高めることができるような工夫が見られます。巻末にWord Listとしてテーマ毎に調べることができるようになっており、各テーマの単語がどの単元の内容と関連するかについて、示されています。

これで、報告を終わります。

（大塚崇行 教育長職務代理者） 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

（谷島大 委員） 他の教科に比べると、英語の教科書は各者で、英文の量や、読む、聞く、話すというバランス、あるいは難易度などで、ばらつきがあるように私は感じました。これから中学校へ接続していく小学校の外国語教育の指導のポイントとして、どのような部分を重視した教科書でどの程度の内容のものが指導しやすいのかということについて伺います。

（大平篤 外国語科専門部会長（代理）） 小学校外国語科のポイントとしましては、中学校に接続するための言語活動を通じた授業の展開が必須となっております。その上で、各者ともに、単元最後のコミュニケーション活動、その単元で身に付けさせたいフレーズに迫るために、それぞれの手立てで様々な領域の活動を通して、ゴールに向かうような設定がなされています。その点で言えば、小学校学習指導要領に沿った教科書の構成となっていると思われれます。難易度につきましては、教科書を開いて内容を見てみますと、活動の内容によっては難しく感じることもあると思いますが、どの発行者も同じ単語やフレーズを繰り返し使うような工夫を図られておりますので、その点は児童にとって、特に負担なく進められるような工夫がされているというように思います。

（内田みどり 委員） 私もレベルの違いを感じています。ある教科書はアルファベットABCから書くところがあったり、他の教科書では既に英文が書かれているものがあったりとレベルの差を感じました。現在、上尾市の子どもたちが4年生までの間にどの程度の学習を済ませてきているのか、例えばアルファベットを大文字も小文字も書けるのか、書けるとすれば5年生からまたそれをやるのかということも疑問です。4年生までに、どの程度までを学習してきているのか、またそのときの教材はどのようなものを使ってきたのかについて伺います。

（大平篤 外国語科専門部会長（代理）） 上尾市では、特別な教育課程を組みまして、小学校1年生から英語活動を実施しております。この英語活動は、独自のワークシート等を使って授業を展開しております。小学校3年生からの外国語活動につきましては、文部科学省が作成しているレッツトライを使用しており、こちらは全国的に同じものを使っております。その中で大事であるのは、文字指導については、あくまでも小学校段階では必須でないというところまでございまして、各児童のレベルや授業展開によっては字に触れることはありますが、それを必ずしも定着した状態で、中学校に上げるというところに行ってしまうと、学習指導要領から外れてしまいますので、教科書の中に確

かに文字が出てきますし、文字で書かせるような場面もございますが、そこは慎重に順序立てて扱っていかねばいけない内容だということを考えております。

(内田みどり 委員) 中学校に連動させるためには、その接続が可能な教科書を選ぶということも一つのポイントになる可能性があります。中学校と別の発行者であっても、どの教科書を使っても特に指導としては問題がないという解釈でよいのか伺います。

(大平篤 外国語科専門部会長(代理)) 小学校の教科書と中学校の教科書とで違う発行者が採択されているという現状がございます。中学校の教科書の巻末の付録には、特に中学校1年生の教科書には、小学校まで学習してきた単語のリストが載っている場合が多いです。それはその発行者の小学校版の教科書の内容で扱ってきた単語というところで、そこにずれが生じてしまうと、それまで習ってきた単語を、中学校に上がったときに中学校の担当者が、小学校の教科書を見ながら、どの単語を学んできたのであろう、どんなフレーズを勉強してきたのであろうということを洗い直す必要が生じてしまうところは確かにございます。

(大塚崇行 教育長職務代理人) 各者とも導入部分から二次元バーコードで読み取ることが前提になっているという部分があります。この本だけ見ているとその部分は分かりませんので、私も二次元バーコードを読みこんで各者の違いを見てきたと思っていますが、この件についての専門部会での議論について伺います。

(大平篤 外国語科専門部会長(代理)) 本日、田崎専門部会長が別の公務のために私が代理で説明をさせていただいております。その田崎専門部会長の話の中で、この二次元バーコードについては、児童が自分の個人端末からアクセスしやすいような工夫がどの発行者もされており、また、教科書の内容について、例えばリスニング活動、聞く活動、見る活動についても、その内容が同じようなものが入っているのです。子どもたちが授業の中で分からなかったものも後で自分が復習しやすいような形になっているということで、この件については、どの発行者も力を入れて作成してくださっていると聞いております。

(大塚崇行 教育長職務代理人) それぞれ特徴があって、アニメが親しみやすい感じの教科書もありますし、本だけを見ているだけでは読み取れない部分が多々ありましたので、質問しました。

(大塚崇行 教育長職務代理人) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理人) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理人) 続いて「道徳」の説明をお願いします。

(中島晴美 道徳科専門部会長) 道徳科につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、学習指導要領の目標を受け、道徳的価値を自分との関わりで考えられるよう

に学び方を、気づく、考える、広げる・深めるの三段階で示しています。現代的な課題については、情報モラル、いじめ防止、命（生命尊重）、安心・安全、自己肯定感がユニットで取り上げられており、高学年では、自分の夢、目標など生き方についても考えられるように工夫が見られます。発達段階に即し低学年は写真やイラストを使って楽しんで学べるよう、中学年は身近な場面で価値理解が深められるよう工夫されています。考え、議論する道德のための工夫として、問題を見つけて考えよう、演じて考えよう、やってみて考えよう等、多様な指導法が例示されています。二次元バーコードの内容は、朗読、スライドショー等となっています。

教育出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、本教材30と補充教材5とし、地域教材や自作教材との入れ替えが可能となっています。視点と主題、導入の問いかけが掲載され、学習の方向性が示されています。現代的な課題については、人と人が認め合う社会、感謝の気持ちをもつ、日本のよさ・世界のよさ、自然を大切にす、命を大切にすを取り上げ、いじめをなくす、情報と向き合うは全学年で特に大切にすテーマとしてユニット化されています。スパイラルに学習する構成となっており発達段階に合わせた学びとなるよう工夫されています。考え、議論する道德のための工夫として問題解決的な学習や体験的な学習など、多様な指導方法が示されています。二次元バーコードの内容は、各教材にあり内容はあらずじとなっています。

光村図書出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、年間を3つのまとまりに分け、A自分自身、B周囲とのかかわり、C社会や地域とのかかわりを重点とし、D生命の尊重の視点は年間を通して最重点とし随所に教材を配置しています。現代的な課題については、生命、人権・多様性、SDGs、情報モラル等多様な教材を掲載しています。生命の尊さの教材後に、感じようのち（体験活動）が設けられています。いじめ・環境・情報モラル・共生についてはユニット化されています。発達段階に即した対話の力を育むため、話し合いのこつを示しています。考え、議論する道德のための工夫として役割演技や考えの整理の仕方、活動アイデア、話し合いを活発にする言葉などを紹介しています。二次元バーコードの内容は、本人の動画・写真・読み聞かせとなっています。

日本文教出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、教材名と共に、内容項目キーワード、導入の発問例、リード文、主な登場人物が掲載され、学習の方向性を示しています。現代的な課題については、人との関わり、安全な暮らし、情報モラル等複数の教材を配置し重点化しています。いじめ防止に関しては、人との関わりの中に2から3教材扱っています。発達段階に即し日常生活で起こりがちな教材が多く配置されています。考え、議論する道德のための工夫として、教材毎に登場人物や条件情況、主な発問を示しています。ぐっと深めるでは、問題解決的な学習や体験的な学習などの手法を用いた効果的な展開を示しています。二次元バーコードの内容は、朗読、画像、動画、アニメーション、心情メーター等多彩です。道德ノートが別冊でついています。

株式会社光文書院は、学習指導要領の目標を受け、弾力的に教材を扱えるように1年生は6本、2年生以上は5本の選択教材が用意されています。現代的な課題については、生命の尊厳、自然、人との共生、情報モラル、へこんでも立ち直るなどの課題に対する教材が多数掲載されています。情報モラル、いじめ、持続可能な発展が重要な課題として設定されています。発達段階に即し、2学年ごとに3つの重点主題が設定されています。考え、議論する道德のための工夫として、教材末の考えよう等で、発問例が示され、多面的・多角的に考えられるように配慮されています。また、体験的な活動みんなで作ってみようが全学年1カ所設けられています。二次元バーコードの内容は、登場した人物のインタビューなど数分の動画を視聴することができます。

株式会社Gakkenは、学習指導要領の目標を受け、児童の多面的な思考を喚起できるよう、教材名と共に主題名の記載がされていません。教材によっては、キーフレーズの記載がされています。現代的な課題については最重点テーマをいのちとし、みんなので多様性・共生・人権等を、みらいへ

でキャリア教育・社会参画教育等を重要テーマとし、ユニット教材2点で構成されています。発達段階に即し2学年ごとに重点テーマを設け、6年間の学びとその後の成長へとつなげるようになっています。考え、議論する道德のための工夫として、深めよう、心のパスポートの特設ページがあり、教材とつなげて考えを深めたり、多面的・多角的に考えたりすることができるようになっています。二次元バーコードの内容は教材に関する動画や写真等となっています。

これで、報告を終わります。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 調査検討事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) 教科書を一通り読みまして、さすが道德という感じで読み入ってしまいました。良い内容が取り上げられていると思いました。一つの教えの中に様々なテーマがあり、話を読みながら考えることが必要で、例えば嘘をついたことがどンドン次の嘘に繋がっていくなど子どもにとってありがちなテーマであると思ってよく読ませていただきました。ただ、最終的にモヤモヤと感じたことは、教科書では最終的に皆さんはどう思いますかと終わって、それで話し合いをして、こういうことはよくないよね、ああいうことはよくないよねということで授業が終わるのかなというように推測しましたが、実際のところは、では皆さんそれでどうするのかというところまで、本当は行かなくてはいけないのではないかという感じがしています。いじめはよくなく、クラスみんなが仲良くしていくためにどのようなことをしていくのかという、そのクラスがどのように展開していくのかというところまでがないように感じました。教科書を使った実際の授業の中ではそのような展開があるのか、例えばボランティア活動の方に感謝の気持ちを伝えなくちゃいけないという話になっても、実際に活動的に感謝をしているのか、このクラスでは手紙を書こうというところまで発展しているのかななどの現在の授業の展開について伺います。

(中島晴美 道徳科専門部会長) 現在道徳の授業におきましては、自分との関わりというものを大切に指導にあたっております。この教材一つ一つが子どもたちにとって、補充であり、深化であり、統合ということで、今までに経験していくことのないものであるとか、それから気が付かないものの価値観であるとか、そういうことに気付かせる一つの資料となってきております。教師はそれについてこの問題解決の方法だけを気付かせるのではなくて、その教材の中から、「あなただったらどうしますか、あなたは今までどうでしたか、どうしていきたいですか」というように自我関与させられるように導いております。

(内田みどり 委員) その後の展開や心の成長に繋がる授業であると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) それぞれの教科書で、最初の発問のところで少し中身のことを導いたり、全くなかったりと違いがあります。指導上はどちらがいいのかなというように思っています、その件について伺います。

(中島晴美 道徳科専門部会長) あなたはどうしますかというような直接的な問いがあったり、自分としてどう考えますかというような自我関与に関する問いがあったりと、各発行者がそれぞれ工夫していると思います。教師はそれをしっかりと踏まえまして、直接的なものだけで終わらず、また自我関

与させながら、さらに考えを深めるところまで導くなど、それぞれ工夫ができるものであると考えております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 他に質疑、意見はございませんか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 退室～

(瀧澤誠 学校教育部長) 説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

(大塚崇行 教育長職務代理者) これより教科書選定の投票を行います。投票は、これからお配りする投票用紙により行います。投票用紙には、採択すべきと考える教科用図書の第1位と第2位をご記入いただきます。第1位の教科用図書の右側のワクに◎、第2位の教科用図書の右側のワクに○をご記入ください。第1位を2点、第2位を1点で集計し、委員の皆様のご意見を集約した採択すべき教科用図書を選定したいと存じます。事務局は、投票用紙の配布等の準備をお願いします。

～事務局が机に、パーテーションを設置、投票用紙を配付～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 投票箱の確認をお願いします。

～事務局が投票箱を持って、全委員が投票箱の中を確認～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 異常なしと認めます。それでは、委員の皆様は、記入が終わりましたら、順次、投票箱へお進みいただき、投票をお願いします。

～委員全員の投票～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 投票が終了しましたので、事務局は開票及び集計をお願いします。

～事務局が開票、集計～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 集計が終わりましたので「国語」から順に、それぞれ第1位、第2位を報告します。「国語」、1位が「光村図書出版株式会社」10点、2位が「東京書籍株式会社」4点。「書写」、1位が「光村図書出版株式会社」9点、2位が「東京書籍株式会社」5点。「社会」、1位が「東京書籍株式会社」10点、2位が「教育出版株式会社」5点。「地図」、1位が「株式会社帝国書院」10点、2位が「東京書籍株式会社」5点。「算数」、1位が「東京書籍株式会社」5点、2位が「教育出版株式会社」3点。「理科」、1位が「教育出版株式会社」10点、2位が「東

京書籍株式会社」5点。「生活」、1位が「東京書籍株式会社」9点、2位が「光村図書出版株式会社」4点。「音楽」、1位が「株式会社教育芸術社」10点、2位が「教育出版株式会社」5点。「図画工作」、1位が「開隆堂出版株式会社」10点、2位が「日本文教出版株式会社」5点。「家庭」、1位が「開隆堂出版株式会社」10点、2位が「東京書籍株式会社」5点。「保健」、1位が「株式会社Gakken」10点、2位が「東京書籍株式会社」5点。「英語」、1位が「開隆堂出版株式会社」10点、2位が「東京書籍株式会社」及び「株式会社三省堂」それぞれ3点。「道徳」、1位が「株式会社Gakken」10点、2位が「東京書籍株式会社」3点。

以上が、令和6年度使用小学校教科用図書の得点結果となります。それではこの後、議案の審議の準備を行うため、ここで暫時休憩を取らせていただきます。再開は、20分後の午後2時35分いたします。

～休憩～

日程第4 議案の審議

(大塚崇行 教育長職務代理人) 休憩前に引き続き会議を再開します。「日程第4 議案の審議」でございます。皆様のご意見を集約いたしました議案第37号が提出されました。「議案第37号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」説明をお願いします。

(瀧澤誠 学校教育部長) 議案第37号につきましては、武田指導課長より、ご説明申し上げます。

(武田直美 指導課長) 「議案第37号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」説明いたします。令和6年度から上尾市立小学校において使用する教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により採択をしたいので、この案を提出いたします。国語、光村図書出版株式会社。書写、光村図書出版株式会社。社会、東京書籍株式会社。地図、株式会社帝国書院。算数、東京書籍株式会社。理科、教育出版株式会社。生活、東京書籍株式会社。音楽、株式会社教育芸術社。図画工作、開隆堂出版株式会社。家庭、開隆堂出版株式会社。保健、株式会社Gakken。英語、開隆堂出版株式会社。道徳、株式会社学Gakken。以上でございます。

(大塚崇行 教育長職務代理人) 議案第37号につきまして、説明いただきましたが、質疑、意見はございますか。

(大塚崇行 教育長職務代理人) 特にございませんでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(大塚崇行 教育長職務代理人) ないようですので、これより採決いたします。「議案第37号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」原案のとおり可決することにご異議はございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 異議ないものと認め、原案のとおり、可決いたしました。なお、この採択結果を、埼玉県教育委員会へ報告いたします。

(大塚崇行 教育長職務代理者) それでは、ここからは、非公開の会議といたします。恐れ入りますが、傍聴の方は、ご退室をお願いいたします。

～傍聴人退室～

日程第5 報告事項

(大塚崇行 教育長職務代理者) それでは、報告事項1の報告は、関係職員のみのお出席によって、行いたいと存じます。

～事務局入替え～

(大塚崇行 教育長職務代理者) 続きまして、「日程第5 報告事項」です。それでは、報告事項について、説明をお願いします。

(瀧澤誠 学校教育部長) 報告事項1につきましては、武田指導課長より、ご説明申し上げます。

(武田直美 指導課長) 調査報告書について説明いたします。はじめに、本いじめ重大事態についてですが、2ページをご覧ください。2ページの第1 上尾市いじめ問題調査委員会設置に至る経緯にも示されているように、令和4年5月24日に被害者 当時3年■組に在籍していた■さんからいじめ被害の訴えがありました。その後、6月9日から被害生徒が不登校になったことから上尾市立■中学校は、いじめ重大事態として対応することとなりました。しかし、被害生徒の不登校状態は一向に改善されず、また、被害生徒及びその保護者が■中学校の対応に強い不信感を訴えたため、調査の主体を学校から教育委員会に移しました。教育委員会は、弁護士や大学教授、医師らで構成される、上尾市いじめ問題調査委員会を立ち上げ、本いじめ重大事態を再調査することとなりました。

続いて、2ページの第2 当委員会における調査の経緯についてです。調査の目的につきましては、民事や刑事上の責任追及ではなく、今後のいじめ再発防止や学校及び教育委員会の対応の在り方について提言を行うこととなります。そして、調査の基本方針として、第三者性を重視し、公平・中立の立場から調査を進めることといたしました。

3ページをご覧ください。こちらは、当委員会の開催日時及び調査対象、調査方法について記載してあります。なお、調査方法につきましては、学校や教育委員会に提出された各書類の分析、関係者からの聴き取り調査を行いました。報告書3ページから5ページにかけて具体的に示されております。

それでは、当委員会が認定したいじめの事実についてでございます。報告書の5ページの第3 調査結果に基づいて当委員会が認定した事実をご覧ください。まず、加害生徒の被害生徒に対するいじめ行為について、5ページ下部(1)から6ページ(2)の⑥までの計7つの事実が認められております。

次に、■中学校が本いじめ行為を認知した経緯でございます。報告書6ページ下部、2 本件いじめ行為を■中学校が認知した経緯をご覧ください。いじめ認知のきっかけは、令和4年5月24

日に、被害生徒■■■さん本人が担任の先生に相談したことになります。その後、5月31日に担任の先生は、被害生徒の■■■さんから詳しく聴き取り、報告書7ページに記載されている、①から⑧までを被害生徒は担任の先生に訴えております。このことを受けて、■■■中学校は、対応を始めていくわけなのですが、8ページ上部に示されているように、いじめに係る会議が開催されないなど、適切な対応が成されなかったことが明らかとなりました。

■■■中学校の具体的な対応としては、報告書の8ページ、3 本件いじめ行為認知後の■■■中学校等の対応に示されているとおりとなります。8ページから11ページにかけて示されております。なお、■■■中学校の問題点について指摘されているものは、8ページの(4)の内容、9ページの(7)の内容、10ページの(10)の内容、11ページの(11)及び(14)の内容でございます。それぞれの対応内容を見ていただければお分かりになるのですが、いじめ重大事態のガイドラインなどに沿って適切に対応されていないこともあり、これらの対応をとおして、被害生徒及びその保護者は、■■■中学校に強い不信感を持ったものと考えられます。

11ページ最下部から13ページ上部にかけては、本件いじめ行為認知後の被害生徒及び加害生徒の状況と被害生徒が不登校に陥った原因について示されています。なお、被害生徒は、12ページ(3)にありますとおり、本件いじめが原因で、フラッシュバック、強い抑うつ症状、不安症状、つまり、PTSD心的外傷後ストレス障害の診断を受けております。現在においても服薬を続けている状況です。また、12ページの下から2行目、5 被害生徒が不登校となった原因についてもありますとおり、不登校の原因としても、本いじめが起因していることが認められております。

次に、本いじめの対応についてでございます。まず、13ページから19ページにかけては、■■■中学校の対応の問題点が示されております。全てを読み上げると時間がかかりますので、簡潔に申し上げさせていただきますと、国や県、市が示しているいじめに関するガイドラインなどに沿って対応がされなかったことが大きな問題点として示されております。また、被害者生徒及び保護者に寄り添った対応もされてこなかった点についても言及されております。そして、何よりも■■■中学校全体としての組織で対応しなければならなかったことに対し、一部の先生や一部の組織のみで対応し、被害生徒側からの信頼が得られなかった、このことについても強い言葉で指摘されております。

次に、19ページ下部から20ページ上部にかけて、上尾市教育委員会の問題点について示されています。ここでは、2点、指摘を受けております。1点目は、学校に対する不十分な指導・助言等についてです。教育委員会として、■■■中学校に適切な指導・助言を行わなかったこと、この姿勢には大きな問題がある、と指摘を受けております。2点目は、学校がいじめ問題に対処する際に参照すべき実践的マニュアルの不備が示されております。このことを受け、現在指導課では、上尾市いじめ重大事態対応マニュアルを作成し、各校に提示できるよう準備しているところでございます。

最後に20ページ中段以降は、いじめ問題調査委員会から、再発防止に向けた提言が示されております。(1) ■■■中学校に対する提言として、ア「■■■中学校いじめ調査委員会」の実践的マニュアルの整備と教員への周知徹底等、イ 被害生徒及びその保護者への迅速かつ誠実な対応等、ウ 加害生徒への指導と支援が示されております。22ページの(2)は、教育委員会への提言として、ア「学校いじめ調査委員会」実践的マニュアルの作成・配布と管理職へのスキルアップ研修の実施、イ 被害生徒及び保護者への誠実な対応、ウ「学校支援チーム」の構成について示されております。また、23ページ中段から25ページにかけては、2 いじめ再発防止に向けて(学校への提言)が示されております。

別紙については、報告書にあわせて公表となります。この別紙は、加害生徒が被害生徒に送付したメール内容でございます。

右上に令和5年7月25日と書かれている文書は、被害生徒保護者から出された上尾市いじめ問題

(武田直美 指導課長) 小学校からの報告はありませんでしたし、先生方も把握していませんでした。

(小池智司 委員) 提言の中の上尾市教育委員会の問題点の中に、実践的マニュアルの不備があり、今作成しているとのことですが、それはいつまでに整備されて、各学校に周知できるのか伺います。

(武田直美 指導課長) 上尾市いじめの防止等のための基本的な方針がありまして、その中で基本的な対応策を示していますが、いじめ重大事態のマニュアルについては整備されていなかったもので、今作成しております。説明を行う臨時校長会議のときにお示ししたいと考えております。

(矢野誠二 委員) 個人的な意見として、相談を担当が受けるまでわからなかったということが気になっていて、小学校時代や中学校に入ってから、本人が担任に相談する前の段階で、いじめ等に関するアンケートに記入していたというような事実もなかったのでしょうか。

(武田直美 指導課長) 報告は行われておりません。

(矢野誠二 委員) 本人も担任に相談するまでは、親にも学校にも伝えなかった。

(武田直美 指導課長) 小学校の時も、近所で知り合いだったということで、その子ども同士のやりとりの中であまりにもエスカレートしてきていて、わいせつ的なものが見られるようになってきたことと、力が強くなってきていますので、ランドセルやリュックを引っ張られるということで、かなり下校のときにそのようなことがあったということです。実際に被害者の方の家庭を訪問させていただいた際に、下校の道のりを教えていただき、こちら辺でこのようなことをされたというようなことを、両親揃って教えていただきました。その場所で引っ張ったり、壁に押し付けたりということでした。

(内田みどり 委員) 加害者生徒の日常的なところについて、被害者以外の人とのトラブルなどはなかったのか伺います。

(武田直美 指導課長) 特には聞いておりません。

(内田みどり 委員) 普通通りに授業を受けて、特にトラブルもなく、その被害者の子にだけということですか。

(瀧澤誠 学校教育部長) 何人かの友達の子に、ちょっかいをかけるようなことはありました。いじめの加害者ということで指導されたということは、それまではありませんでした。

(内田みどり 委員) 落ち着きがないとかそのようなことはなかったということですね。現状、被害を受けられた方が学校に行けなくなってしまった状況がございますので、本当に丁寧な対応が必要になってくると思います。謝罪をしなくてはいけないところはしっかりと謝罪をして、これからの上尾市の教育をどのようにしていくかということを示していかなくてはいけないと思いますので、その対応を丁寧にしていただきたいということを意見として申し上げます。

(小池智司 委員) 加害生徒と被害生徒は、現在どのようになっているのか伺います。

(武田直美 指導課長) 加害生徒については [REDACTED]
[REDACTED] というように聞いております。被害生徒に
ついて、 [REDACTED] というようにご両親の方
から聞いております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 毎回、教育委員会が開かれる度にいじめの件数の報告がありますが、これだけの重大事態があったということが、令和4年5月に学校に報告されていて、私ども教育委員に伝わることなく、表に出てこなかったこと、私ども教育委員がこのことを聞いたのはつい最近のことですので、これだけの重大なことが報告されないということにも問題があるのかもしれませんが、[REDACTED] 中学校の対応にしても、教育委員会の対応にしても、重大事態に対するマニュアルがまだないということですが、それは早急にするべきで、今ないこと自体が問題だというように思います。私どもとしては、いじめ問題に対する組織を作って対応していくということは以前から説明もいただいており、それに対応するマニュアルなどはしっかりしたものがあると考えておりましたが、今回重大事態に対するマニュアルがないということは、まず落ち度があるというようには考えます。最初は見えなかったというところもあるかもしれませんが、そういうことへの対応ということ、早急にできるようにすべきだというように思っています。この事案に対しましては、謝罪をすべきことはしっかりと謝罪をして、個別の一つの学校としてではなく、上尾市教育委員会の組織として真摯に対応して、被害生徒やご家族の方に納得いただけるような対応を考えていただき、そして再発がないように対応をしていただきたいと思います。

日程第6 閉会の宣告

(大塚崇行 教育長職務代理者) 以上で本日予定されておりました日程は全て終了いたしました。これをもちまして、令和5年上尾市教育委員会第2回臨時会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

令和5年9月28日 署名委員 小池 智司